



平成26年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月1日
上場取引所 東

上場会社名 日本ファイルコン株式会社
コード番号 5942

URL <http://www.filcon.co.jp/>

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)名倉 宏之
問合せ先責任者 (役職名)取締役管理・経営企画管掌 (氏名)齋藤 芳治
兼管理本部長
兼経営企画室長

(TEL)042-377-5711

四半期報告書提出予定日 平成26年7月8日 配当支払開始予定日 平成26年8月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年11月期第2四半期の連結業績(平成25年12月1日～平成26年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|--------|-----|------|------|------|-------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年11月期第2四半期 | 11,820 | 4.7 | 603 | 35.4 | 660 | △13.1 | 502 | △3.7 |
| 25年11月期第2四半期 | 11,294 | 3.1 | 445 | — | 760 | — | 521 | — |

(注) 包括利益 26年11月期第2四半期 678百万円(△67.0%) 25年11月期第2四半期 2,054百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|--------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年11月期第2四半期 | 22.70 | — |
| 25年11月期第2四半期 | 23.57 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|--------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 26年11月期第2四半期 | 31,107 | 14,182 | 44.8 |
| 25年11月期 | 32,082 | 13,637 | 41.8 |

(参考) 自己資本 26年11月期第2四半期 13,936百万円 25年11月期 13,408百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年11月期 | — | 0.00 | — | 6.00 | 6.00 |
| 26年11月期 | — | 3.00 | — | — | — |
| 26年11月期(予想) | — | — | — | 3.00 | 6.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年11月期の連結業績予想(平成25年12月1日～平成26年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|------|------|------|-------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 23,300 | 1.3 | 800 | △8.0 | 900 | △28.6 | 800 | △29.5 | 36.15 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|-----------|------------|-----------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 26年11月期2Q | 22,167,211 | 25年11月期 | 22,167,211 |
| ② 期末自己株式数 | 26年11月期2Q | 35,326 | 25年11月期 | 35,092 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 26年11月期2Q | 22,131,988 | 25年11月期2Q | 22,132,244 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (セグメント情報等) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融緩和策により企業収益の改善や雇用・所得環境の持ち直しがみられるなど国内景気はゆるやかな回復基調で推移いたしました。が、欧米諸国の財政問題や新興国経済の減速といった海外経済の不安要素もあり、先行き不透明な状況が継続しております。

当社グループの主要取引先である国内紙・パルプ業界は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要は見られたもののその反動や、原燃料価格の上昇など依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、国内およびアジア地域を中心とした拡販活動に注力するとともに、厳しい環境下での収益確保を目的として、生産・販売・サービス体制の強化を継続して実施するとともに、平成26年2月25日付で、社内カンパニー制を採用し、各事業が一定の責任と権限のもとで事業特性に応じた施策をよりタイムリーに意思決定できる組織体制へ移行いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高11,820百万円（前年同期比4.7%増）、営業利益は、売上原価率が前年同期と比べ0.9ポイント減少したことにより603百万円（前年同期比35.4%増）となりました。経常利益は、為替差益が前年同期に比べ254百万円減少したこと等により660百万円（前年同期比13.1%減）、四半期純利益は502百万円（前年同期比3.7%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①産業用機能フィルター・コンベア事業

製紙製品分野では、主要顧客である国内紙・パルプ業界は、国内需要は依然として低迷しており、厳しい状況で推移いたしました。このなかで当社グループでは、高付加価値製品等を提案することなどにより、国内市場におけるシェア確保に努めるとともに、不織布製造用網を含めアジアを中心とする海外市場において積極的な拡販活動を展開してまいりました。この結果、国内売上高は需要の低迷により減少いたしました。が、海外販売数量の増加により、当分野の売上高は増加いたしました。

その他の産業分野では、海外向け材料販売や石油採油用スクリーンの売上は前年同期と比べ減少したものの、国内の食品業界向けおよび一部の不織布メーカー向けコンベアの売上や、海外の防蟻施工事業が好調で、当分野は総じて堅調に推移しました。

結果、当セグメントの外部顧客への売上高は8,320百万円（前年同期比3.9%増）、営業利益は752百万円（前年同期比2.5%減）となりました。

②電子部材・マスク事業

エッチング加工製品分野では、医療機器向け製品やOA機器向け製品での当社の加工特性を活かした製品微細加工技術の向上による高付加価値製品の開発および受注したことなどにより、売上高は前年同期と比べ増加いたしました。一方、得意分野とする大型・中型タッチパネル製品の拡販活動と量産に向けた試作を実施いたしました。が、想定した受注を確保できなかったことにより、当初計画に対して未達となりました。

マスク製品分野では、低迷する国内半導体産業の再編・集約が進む等厳しい状況で推移したなか、当社グループでは、得意分野とするパワー半導体向けや、MEMS関連等の非半導体分野を含め積極的な拡販活動を展開したことなどにより、前年同期と比べ売上高は増加いたしました。

結果、当セグメントの外部顧客への売上高は、既存の製品に加え太陽光発電システム設備の売上が寄与したことなどから2,069百万円（前年同期比19.8%増）となり、営業損失は20百万円（前年同期営業損失96百万円）となりました。

③環境・水処理関連事業

水処理製品分野では、公共投資の増加等、市場はゆるやかな回復傾向にあるなか、期首に子会社アクアプロダクトにおいて事業統合効果を最大限に発揮すべく組織を改編し販路の拡大を行うとともに、全自動水泳プール循環ろ過装置「クリーンアクア」やろ過装置一体型プール「スマートアクア」を新たに販売を開始するなど、幅広い提案力をもってプール本体およびろ過装置と工業用クロフタ排水処理装置の受注活動に注力いたしました。

その他の分野では、車輛連結器や絶縁継手、高比重コンクリート「Gコン」といった製品の受注活動を積極的に行いました。

結果、当セグメントに属する株式会社アクアプロダクトの前年同期が決算期変更の影響で8ヶ月決算であったことにより、当セグメントの外部顧客への売上高は930百万円（前年同期比13.8%減）、営業利益は64百万円（前年同期比6.1%減）となりました。

④不動産賃貸事業

不動産賃貸事業では、既存の賃貸物件に加え、前期に完成し賃貸を開始した大阪市淀川区の賃貸マンションの賃料収入の増加により、売上高及び営業利益は前年同期と比べ増加いたしました。

結果、当セグメントの外部顧客への売上高は500百万円（前年同期比3.6%増）、営業利益は355百万円（前年同期比13.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

流動資産は、前連結会計年度末に比べ713百万円減少し、14,333百万円となりました。これは主として、現金及び預金が773百万円、商品及び製品が89百万円それぞれ減少し、仕掛品が73百万円、原材料及び貯蔵品が54百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ261百万円減少し、16,774百万円となりました。これは主として、建物及び構築物が108百万円、機械装置及び運搬具が173百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ974百万円減少し、31,107百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,096百万円減少し、9,484百万円となりました。これは主として、短期借入金が284百万円、1年内返済予定の長期借入金が490百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ423百万円減少し、7,440百万円となりました。これは主として、長期借入金が275百万円、役員退職慰労引当金が63百万円、長期預り敷金保証金が73百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,519百万円減少し、16,925百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ544百万円増加し、14,182百万円となりました。これは主として、利益剰余金が369百万円（四半期純利益502百万円、剰余金の配当132百万円）、為替換算調整勘定が144百万円それぞれ増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ773百万円減少し、2,245百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益660百万円と減価償却費643百万円などにより952百万円の収入(前第2四半期連結累計期間に比べ1,183百万円の収入増)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出352百万円と無形固定資産の取得による支出130百万円などにより487百万円の支出(前第2四半期連結累計期間に比べ172百万円の支出減)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入500百万円がありましたが、短期借入金の純減284百万円、長期借入金の返済による支出1,278百万円などにより1,248百万円の支出(前第2四半期連結累計期間は611百万円の収入)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年11月期の業績予想につきましては、平成26年1月10日公表の業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する情報

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年11月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成26年5月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,027,412 | 2,253,543 |
| 受取手形及び売掛金 | 6,561,966 | 6,537,771 |
| 商品及び製品 | 2,904,339 | 2,814,812 |
| 仕掛品 | 843,233 | 916,770 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,100,901 | 1,154,979 |
| その他 | 697,524 | 746,720 |
| 貸倒引当金 | △88,302 | △91,110 |
| 流動資産合計 | 15,047,075 | 14,333,486 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 5,123,710 | 5,015,375 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 3,191,871 | 3,018,860 |
| 土地 | 3,656,126 | 3,660,398 |
| その他(純額) | 321,308 | 368,827 |
| 有形固定資産合計 | 12,293,016 | 12,063,461 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 868,091 | 843,575 |
| その他 | 234,153 | 270,531 |
| 無形固定資産合計 | 1,102,244 | 1,114,107 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,274,690 | 2,242,359 |
| リース投資資産 | 501,252 | 491,894 |
| その他 | 880,311 | 874,045 |
| 貸倒引当金 | △15,896 | △11,586 |
| 投資その他の資産合計 | 3,640,358 | 3,596,712 |
| 固定資産合計 | 17,035,619 | 16,774,282 |
| 資産合計 | 32,082,695 | 31,107,768 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年11月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成26年5月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 3,179,294 | 3,101,549 |
| 短期借入金 | 3,202,606 | 2,917,919 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 2,007,685 | 1,517,666 |
| 未払法人税等 | 116,651 | 76,526 |
| 賞与引当金 | 53,496 | 54,097 |
| 役員賞与引当金 | 19,000 | — |
| その他 | 2,002,715 | 1,817,202 |
| 流動負債合計 | 10,581,450 | 9,484,961 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 4,184,345 | 3,908,374 |
| 退職給付引当金 | 496,625 | 465,679 |
| 役員退職慰労引当金 | 330,663 | 266,740 |
| 長期預り敷金保証金 | 1,791,190 | 1,717,322 |
| 資産除去債務 | 108,788 | 108,939 |
| その他 | 951,863 | 973,139 |
| 固定負債合計 | 7,863,478 | 7,440,195 |
| 負債合計 | 18,444,929 | 16,925,157 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,685,582 | 2,685,582 |
| 資本剰余金 | 1,912,324 | 1,912,324 |
| 利益剰余金 | 8,729,540 | 9,099,232 |
| 自己株式 | △28,115 | △28,214 |
| 株主資本合計 | 13,299,331 | 13,668,924 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 215,572 | 229,609 |
| 為替換算調整勘定 | △106,506 | 38,139 |
| その他の包括利益累計額合計 | 109,066 | 267,748 |
| 少数株主持分 | 229,368 | 245,937 |
| 純資産合計 | 13,637,766 | 14,182,610 |
| 負債純資産合計 | 32,082,695 | 31,107,768 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 11,294,062 | 11,820,275 |
| 売上原価 | 7,456,989 | 7,696,923 |
| 売上総利益 | 3,837,072 | 4,123,351 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,391,206 | 3,519,827 |
| 営業利益 | 445,866 | 603,524 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 792 | 1,310 |
| 受取配当金 | 10,808 | 18,267 |
| 為替差益 | 254,994 | — |
| 持分法による投資利益 | 87,703 | 58,100 |
| その他 | 76,567 | 67,754 |
| 営業外収益合計 | 430,865 | 145,433 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 75,010 | 54,605 |
| その他 | 41,586 | 33,533 |
| 営業外費用合計 | 116,596 | 88,139 |
| 経常利益 | 760,134 | 660,818 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 760,134 | 660,818 |
| 法人税等 | 235,072 | 149,785 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 525,062 | 511,032 |
| 少数株主利益 | 3,376 | 8,547 |
| 四半期純利益 | 521,685 | 502,484 |

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日) |
|------------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 525,062 | 511,032 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 217,690 | 14,036 |
| 為替換算調整勘定 | 1,230,297 | 140,881 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 81,184 | 12,771 |
| その他の包括利益合計 | 1,529,172 | 167,690 |
| 四半期包括利益 | 2,054,235 | 678,722 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 2,012,054 | 661,167 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 42,180 | 17,555 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日) |
|--------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 760,134 | 660,818 |
| 減価償却費 | 691,255 | 643,561 |
| のれん償却額 | 40,020 | 42,003 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | 50,922 | △30,946 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | 11,674 | △63,923 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 8,319 | △1,501 |
| 受取利息及び受取配当金 | △11,600 | △19,578 |
| 支払利息 | 75,010 | 54,605 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △87,703 | △58,100 |
| 固定資産売却損益(△は益) | △432 | 484 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △123,879 | 24,195 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △279,191 | △38,086 |
| 前払年金費用の増減額(△は増加) | △113,451 | △26,798 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 297,970 | 15,770 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | 57,847 | 11,892 |
| 希望退職関連費用に係る未払金の増減額(△は減少) | △1,265,896 | — |
| その他 | △232,998 | △109,486 |
| 小計 | △121,998 | 1,104,908 |
| 利息及び配当金の受取額 | 11,622 | 19,671 |
| 利息の支払額 | △63,894 | △43,997 |
| 法人税等の支払額 | △74,458 | △139,107 |
| 法人税等の還付額 | 17,665 | 11,140 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △231,063 | 952,616 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △570,228 | △352,967 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △23,185 | △130,109 |
| 長期預り敷金保証金の返還による支出 | △82,267 | △73,867 |
| その他 | 16,344 | 69,836 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △659,337 | △487,108 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 1,157,508 | △284,686 |
| 長期借入れによる収入 | 513,328 | 500,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △926,324 | △1,278,458 |
| 配当金の支払額 | △66,396 | △132,792 |
| その他 | △66,177 | △52,133 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 611,939 | △1,248,071 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 148,970 | 8,709 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △129,491 | △773,854 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,559,789 | 3,019,508 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 2,430,298 | 2,245,653 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|-----------------------|---------------------------|----------------|----------------|-------------|------------|-------------|-------------------------------|
| | 産業用機能 フィルター・ コンベア事業 | 電子部材・ マスク事業 | 環境・水処理 関連事業 | 不動産賃貸 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 8,005,805 | 1,726,589 | 1,079,056 | 482,610 | 11,294,062 | — | 11,294,062 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 7,226 | 60 | 253 | — | 7,539 | △7,539 | — |
| 計 | 8,013,031 | 1,726,649 | 1,079,309 | 482,610 | 11,301,601 | △7,539 | 11,294,062 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 771,775 | △96,530 | 68,472 | 312,777 | 1,056,494 | △610,628 | 445,866 |

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△610,628千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、当社の本社部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年12月1日 至 平成26年5月31日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|-----------------------|---------------------------|----------------|----------------|-------------|------------|-------------|-------------------------------|
| | 産業用機能 フィルター・ コンベア事業 | 電子部材・ マスク事業 | 環境・水処理 関連事業 | 不動産賃貸 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 8,320,570 | 2,069,146 | 930,467 | 500,090 | 11,820,275 | — | 11,820,275 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 4,647 | — | 156 | — | 4,803 | △4,803 | — |
| 計 | 8,325,217 | 2,069,146 | 930,623 | 500,090 | 11,825,078 | △4,803 | 11,820,275 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 752,606 | △20,571 | 64,302 | 355,846 | 1,152,183 | △548,659 | 603,524 |

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△548,659千円は、内部取引にかかわる調整額1,381千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△550,041千円であります。全社費用は、当社の本社部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。